



平成22年 4月27日

各 位

上場会社名 三国コカ・コーラボトリング株式会社  
代表者 代表取締役社長 椎名 幹芳  
(コード番号 2572)  
問合せ先責任者 取締役常務執行役員 石川 幸治  
管理本部長兼経理部長  
(Tel 048-774-1132)

## (訂正・数値データ訂正あり)「平成21年12月期 第1四半期決算短信」の一部訂正について

平成21年 4月30日に発表いたしました「平成21年12月期 第1四半期決算短信」の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所は\_\_を付して表示しております。

記

### ■ 3 ページ

定性的情報・財務諸表等

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(2) キャッシュ・フローの状況

#### 【訂正前】

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2億62百万円減少し47億9百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローについては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動のキャッシュ・フローは13億47百万円の収入となりました。これは主に減価償却費12億25百万円、売上債権の減少14億91百万円などの収入と、仕入れ債務の減少9億8百万円等の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは10億30百万円の支出となりました。これは主に固定資産の取得9億63百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は5億79百万円となりました。これは主に配当金の支払額5億79百万円によるものであります。

#### 【訂正後】

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2億62百万円減少し47億9百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローについては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動のキャッシュ・フローは15億81百万円の収入となりました。これは主に減価償却費14億59百万円、売上債権の減少14億91百万円などの収入と、仕入れ債務の減少9億8百万円等の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは10億30百万円の支出となりました。これは主に固定資産の取得9億63百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は8億13百万円となりました。これは主に配当金の支払額5億79百万円、リース会計基準の適用に伴うリース債務返済による支出2億34百万円によるものであります。

■ 9 ページ

5. 【四半期連結財務諸表】

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

【訂正前】

(単位：百万円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
減価償却費		1,225
(中略)		
小計		<u>2,508</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー		<u>1,347</u>
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		<u>△579</u>
(以下省略)		

【訂正後】

(単位：百万円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
減価償却費		1,459
(中略)		
小計		<u>2,742</u>
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー		<u>1,581</u>
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出		<u>△234</u>
(中略)		
財務活動によるキャッシュ・フロー		<u>△813</u>
(以下省略)		